

# 日本海中部地震時に北浦漁港をおそった津波



1983年日本海中部地震 男鹿市の記録より抜粋



### 11 北浦漁港

昭和9年(1932)に最初の整備が完了し、その後何度も修築事業が行われました。漁獲量はハタハタが一番多く他にアジ、サケ、マス、タイなどが獲れます。水揚げされた魚介類の競り売りが行われ、ハタハタ漁が始まるとハタハタを買い求める人々で賑わいます。

### 12 防潮水門

昭和58年の日本海中部地震の際に発生した津波で、北浦漁港の周辺は大きな被害を受けました。これは地震の後で、津波による被害から民家を守るために設置された可動式の堤防です。

### 13 ハタハタ番屋

番屋はハタハタ漁の期間中、漁師の生活の場所となります。かつては豊漁に沸いたハタハタも、平成2年には全盛期の0.2%まで落ち込みました。そのため、県内では平成4年から3年間を全面禁漁とした結果、現在は漁獲量も回復し賑わいを取り戻しつつあります。

### 18 金勢様

男根状の石が祀られています。男女の縁結び・子授け・子孫繁栄・しもの病などにご利益があるとされています。ご利益を求めて石を撫でる人もいます。

### 19 染川城跡

染川は相川の昔の名前であるといわれています。染川城は大増川と小増川の間に位置し、南北朝時代の安倍兼季が居住したとされるところで、菅江真澄が『男鹿の秋風』の中で城跡について触れています。

### 11 男鹿のナマハゲ

大晦日の晩に各家々を廻り、災いを祓い、豊作・大漁・吉事をもたらす来訪神です。現在も男鹿半島全域で行われています。地域によってお面の作りや表情も様々あり、写真のナマハゲは相川地区のナマハゲです。

### 14 田沼家土蔵

明治時代回船業を営み、県内有数の海運業者として知られた田沼家ゆかりのものです。初代が建てた屋敷に唯一残っている建物で、江戸時代のものだと伝えられています。古い時代の大規模な土蔵として貴重な建造物です。

### 15 五輪塔群

密教で造られはじめた供養塔です。石で5つの形を造り塔のように積み重ね、下から地・水・火・風・空を表しています。特に大きな五輪塔は、南北朝時代の塔として県内でも他に例をみない貴重なものとして評価されています。

### 16 復興碑

平成2年(1990)の台風19号による記録的な豪雨の影響で、道路や河川が甚大な被害を受けました。その被害や復旧を後世に語り継ぐために平成4年に建てられた碑です。

### 17 耳堂講

安全寺に通じる昔の道と真山に行く道の分岐点にあるお堂で、中に地藏が祀られています。お椀の底に穴をあけ耳にみためて奉納すると耳の病が治るといわれ現在も信仰の対象となっています。

- 1 北浦市民センター 500m
- 11 北浦市民センター 600m
- 14 田沼家土蔵 100m
- 12 防潮水門 400m
- 15 五輪塔群 650m
- 13 ハタハタ番屋 1300m
- 16 復興碑 1500m
- 18 金勢様
- 17 耳堂講
- 19 染川城跡